



わんぱくでもいい。たくましく育ててほしい。

2025年3月期第2四半期（中間期）

決算短信補足資料

2024年11月8日

丸大食品株式会社

URL <https://www.marudai.jp/>

◇ 2025年3月期 中間期連結業績の総括	P. 2
◇ 2025年3月期 中間期セグメント別連結業績	P. 3
◇ 2025年3月期 中間期連結財政状態	P. 4
◇ 2025年3月期 中間期連結業績のポイント	P. 5
◇ 2025年3月期 中間期連結キャッシュ・フロー	P. 6
◇ 2025年3月期 通期連結業績計画	P. 7
◇ 2025年3月期 通期セグメント別連結業績計画	P. 8
◇ 資本コストや株価を意識した経営の実現～改善に向けた取組み状況	P. 9
◇ 資本コストや株価を意識した経営の実現～政策保有株式縮減	P. 1 0
◇ 主力商品紹介	P. 1 1

■売上高■

主力のハム・ソーセージ部門の伸長や、デザート・ヨーグルト類の売上拡大、食肉事業の量販店向け販売が堅調に推移したことなどから、前年同期比3.9%の増収。

■営業利益■

原材料価格の高騰などコスト増加要因があるも、価格改定や不採算商品の改廃、継続的なコスト削減に努めたことなどから、前年同期比94.4%の増益。

■親会社株主に帰属する中間純利益■

営業利益の増益や固定資産処分益2,019百万円を特別利益として計上したことなどから、前年同期比334.6%の増益。

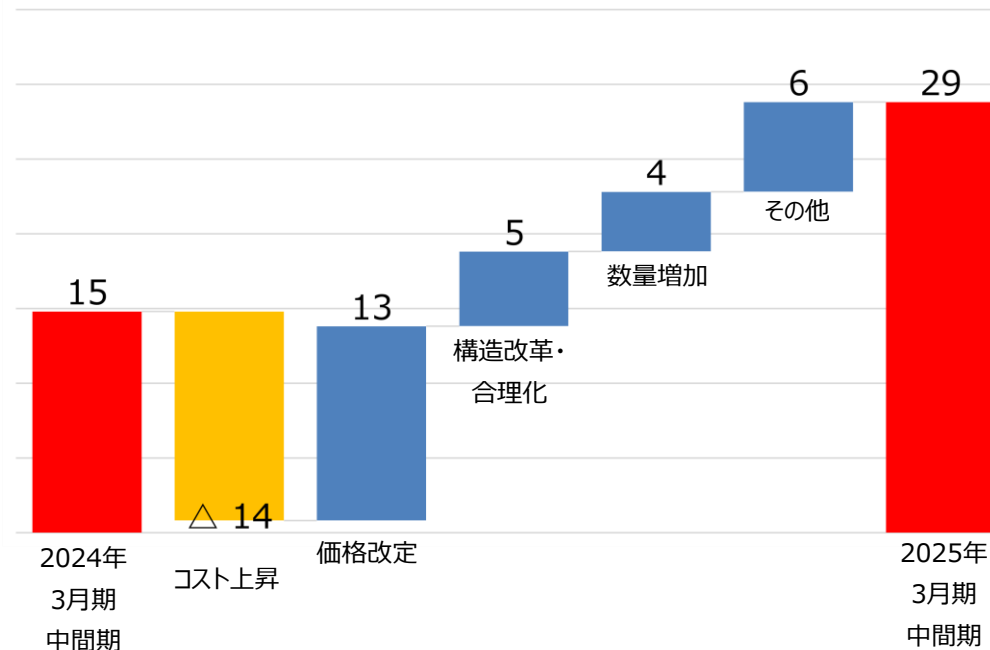
(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期実績	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期 中間期実績	対前期	
				増減額	増減率
売上高	110,557	114,118	118,582	4,464	3.9%
営業利益 (売上高比率)	△754 (△0.7%)	1,482 (1.3%)	2,882 (2.4%)	1,399 (1.1%)	94.4% -
経常利益 (売上高比率)	△515 (△0.5%)	1,738 (1.5%)	3,143 (2.7%)	1,405 (1.2%)	80.8% -
親会社株主に帰属する 中間純利益 (売上高比率)	△575 (△0.5%)	983 (0.9%)	4,272 (3.6%)	3,289 (2.7%)	334.6% -
1株当たり 中間純利益	△22.87円	39.34円	171.91円	132.57円	-

営業利益増減要因

■増加 ■減少 ■合計

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります。

2025年3月期 中間期セグメント別連結業績

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期実績	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期		
			中間期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
加工食品事業	73,414	76,103	79,347	3,243	4.3%
ハム・ソーセージ	31,323	31,770	34,179	2,409	7.6%
調理加工食品	42,091	44,333	45,167	833	1.9%
食肉事業	37,075	37,958	39,176	1,218	3.2%
その他	67	56	58	2	4.0%
売上高	110,557	114,118	118,582	4,464	3.9%
加工食品事業 (売上高比率)	△ 767 (△1.0%)	1,146 (1.5%)	2,678 (3.4%)	1,531 (1.9%)	133.5% -
食肉事業 (売上高比率)	△ 6 (△0.0%)	321 (0.8%)	188 (0.5%)	△ 133 (△0.3%)	△ 41.5% -
その他	19	14	16	1	10.7%
セグメント利益 (売上高比率)	△ 754 (△0.7%)	1,482 (1.3%)	2,882 (2.4%)	1,399 (1.1%)	94.4% -

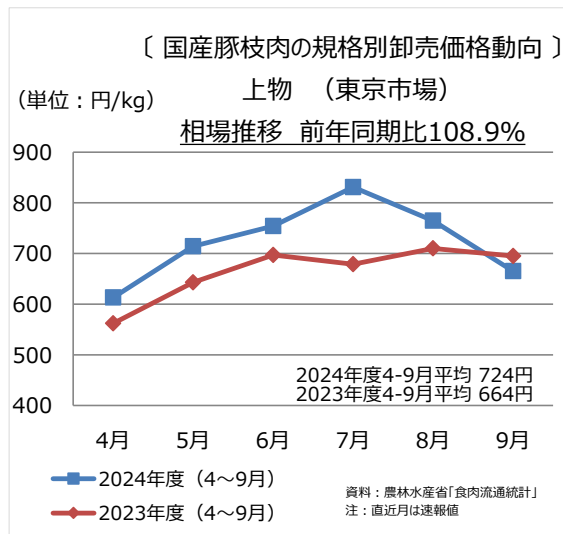
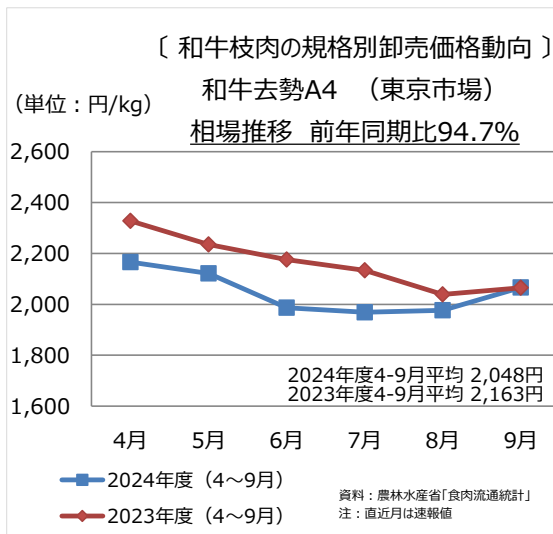
■加工食品事業■

- 〔ハム・ソーセージ部門〕 前年同期比7.6%の増収
- ・「燻製屋」シリーズやロースハム、ハーフベーコンの「いつも新鮮」シリーズを中心とした全12品の「TEAM JAPANパリ2024公式ライセンス商品」限定デザインを発売し拡販に努める。
 - ・応援キャンペーンを通して、限定デザイン商品のほか徳用タイプのウインナーなど、積極的な売上拡大の取り組みが大きく寄与し、売上高は順調に推移。
- 〔調理加工食品部門〕 前年同期比1.9%の増収
- ・外食産業向け業務用商品や「ビストロ倶楽部濃厚カレー」などのレトルトカレー商品の売上高が堅調に推移。
 - ・新商品では、人気の韓国料理をおうちでつくれる「韓国列伝」シリーズなどを投入し拡販に努める。
 - ・デザート・ヨーグルト類では、「SWEET CAFE プリンwith珈琲ゼリー」などの新商品の投入や、季節のこだわり素材を生かしたチルドデザート、量販店向け販売のヨーグルトの売上拡大に努める。

【総括】

売上高は、前年同期比4.3%の増収。
セグメント利益は、原材料価格の高騰などコスト増加要因があるも、価格改定や不採算商品の改廃、継続的なコスト削減に努めた結果、前年同期比133.5%の増益。

資料 枝肉規格別卸売価格動向



■食肉事業■

- 〔牛肉〕 前年同期比増収
- ・輸入牛肉の販売数量は減少。
 - ・国産牛肉の販売路拡大などを図り、量販店向け販売の売上高は堅調に推移。
- 〔豚肉〕 前年同期比増収
- ・輸入豚肉の販売数量は減少。
 - ・国産豚肉の販売に注力し、量販店・外食産業向け販売ともに前年を上回る。

【総括】

売上高は、前年同期比3.2%の増収。
セグメント利益は、コスト高や相場高に対する価格転嫁がしきれず、前年同期比△41.5%の減益。

2025年3月期 中間期連結財政状態

(単位：百万円)

	2024年3月期	2024年3月期	2025年3月期			2024年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期末	期末	中間期末	対前期末 増減額		中間期末	期末	中間期末	対前期末 増減額
現金及び預金	8,648	9,668	8,247	△1,421	仕入債務	24,086	22,491	23,066	574
売上債権	28,442	28,018	25,623	△2,394	有利子負債	26,145	21,646	18,582	△3,063
棚卸資産	21,130	18,554	22,445	3,890	その他	14,191	14,930	15,118	187
その他	1,253	837	1,303	466	負債合計	64,423	59,068	56,766	△2,301
流動資産合計	59,475	57,078	57,620	541	株主資本	64,053	53,656	57,431	3,775
有形固定資産	55,879	42,430	43,298	867	その他の包括利益累計額	6,265	8,354	8,112	△242
無形固定資産	1,222	324	513	188	非支配株主持分	707	741	774	33
投資その他の資産	18,874	21,985	21,653	△331	純資産合計	71,027	62,751	66,318	3,567
固定資産合計	75,975	64,741	65,465	724	負債純資産合計	135,450	121,819	123,085	1,265
資産合計	135,450	121,819	123,085	1,265					

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位：百万円)

	2024年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期	通期	中間期	対前年同期 増減額
設備投資	2,354	4,122	3,487	1,133
減価償却費	3,524	7,117	2,314	△1,210

■自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況■

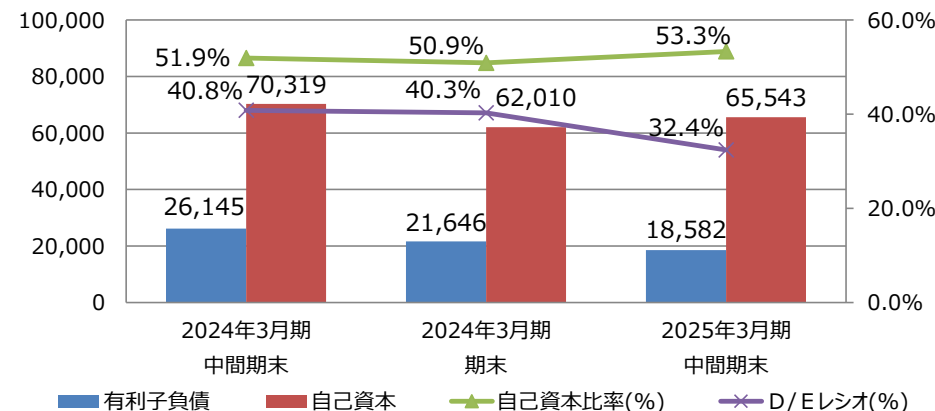
(単位：百万円)

	2024年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期末	期末	中間期末	対前期末 増減額
自己資本	70,319	62,010	65,543	3,533
自己資本比率	51.9%	50.9%	53.3%	2.4%
D/Eレシオ	40.8%	40.3%	32.4%	△7.9%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆総資産は、売上債権が減少するも、棚卸資産が増加したことなどから、前期末比1,265百万円増加。
- ◆設備投資は、減価償却費を上回る 3,487百万円を実施。
- ◆負債は、仕入債務の増加があるも、有利子負債が減少したことなどから、前期末比△2,301百万円減少。
- ◆純資産は、剰余金の配当やその他有価証券評価差額金の減少があるも、親会社株主に帰属する中間純利益の計上などから、前期末比3,567百万円増加。
- ◆自己資本比率は、前期末比2.4%上昇、D/Eレシオは、前期末比△7.9%低下。

有利子負債・自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況
(単位：百万円)



2025年3月期 中間期連結業績のポイント

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期実績	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期		
			中間期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	110,557	114,118	118,582	4,464	3.9%
売上総利益 (売上高比率)	15,193 (13.7%)	17,215 (15.1%)	18,709 (15.8%)	1,494 (0.7%)	8.7% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	15,947 (14.4%)	15,732 (13.8%)	15,827 (13.3%)	94 (△0.5%)	0.6% -
営業利益 (売上高比率)	△ 754 (△0.7%)	1,482 (1.3%)	2,882 (2.4%)	1,399 (1.1%)	94.4% -
営業外損益	238	255	261	5	-
営業外収益	380	422	418	△ 4	-
営業外費用	141	166	156	△ 10	-
経常利益 (売上高比率)	△ 515 (△0.5%)	1,738 (1.5%)	3,143 (2.7%)	1,405 (1.2%)	80.8% -
特別損益	△ 91	△ 474	2,132	2,606	-
特別利益	41	4	2,296	2,291	-
特別損失	132	479	164	△ 315	-
税金等調整前 中間純利益	△ 607	1,264	5,275	4,011	317.3%
法人税等合計	△ 40	252	965	713	-
中間純利益	△ 567	1,011	4,310	3,298	-
非支配株主に帰属する 中間純利益	8	28	37	9	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	△ 575	983	4,272	3,289	334.6%

増 減 要 因

■売上総利益■

価格改定や不採算商品の改廃、継続的なコスト削減に努めたことなどから、1,494百万円（前年同期比8.7%）の増益。
売上高比率は15.8%、前年同期比0.7%の上昇。

■販売費及び一般管理費■

配送費などの増加から、94百万円（前年同期比0.6%）の増加。
売上高比率は13.3%、前年同期比△0.5%の低下。

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期実績	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期	
			中間期実績	対前期 増減額
人件費	4,898	4,761	4,771	10
配送費	6,003	5,946	6,269	322
その他	5,046	5,024	4,786	△ 238
合計	15,947	15,732	15,827	94

■営業外損益■

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期実績	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期	
			中間期実績	対前期 増減額
受取利息・配当金	171	173	193	20
その他	209	248	224	△ 24
営業外収益計	380	422	418	△ 4
支払利息	112	117	116	△ 1
その他	28	49	40	△ 8
営業外費用計	141	166	156	△ 10

■特別損益■

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期実績	2024年3月期 中間期実績	2025年3月期	
			中間期実績	対前期 増減額
固定資産処分益	41	4	2,019	2,014
投資有価証券売却益	-	-	276	276
特別利益計	41	4	2,296	2,291
固定資産処分損	124	36	90	53
減損損失	8	3	10	6
構造改革費用	-	438	35	△ 402
製品自主回収関連費用	-	-	27	27
特別損失計	132	479	164	△ 315

■ 営業活動によるCF ■

運転資金の増加による減少要因があるも、減価償却費の計上や税金等調整前中間純利益の計上などから、2,756百万円増加。

■ 投資活動によるCF ■

固定資産の売却による収入があるも、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産取得による支出などから、△556百万円減少。

■ 財務活動によるCF ■

有利子負債の減少や配当金の支払いなどから、△3,621百万円減少。

(単位：百万円)

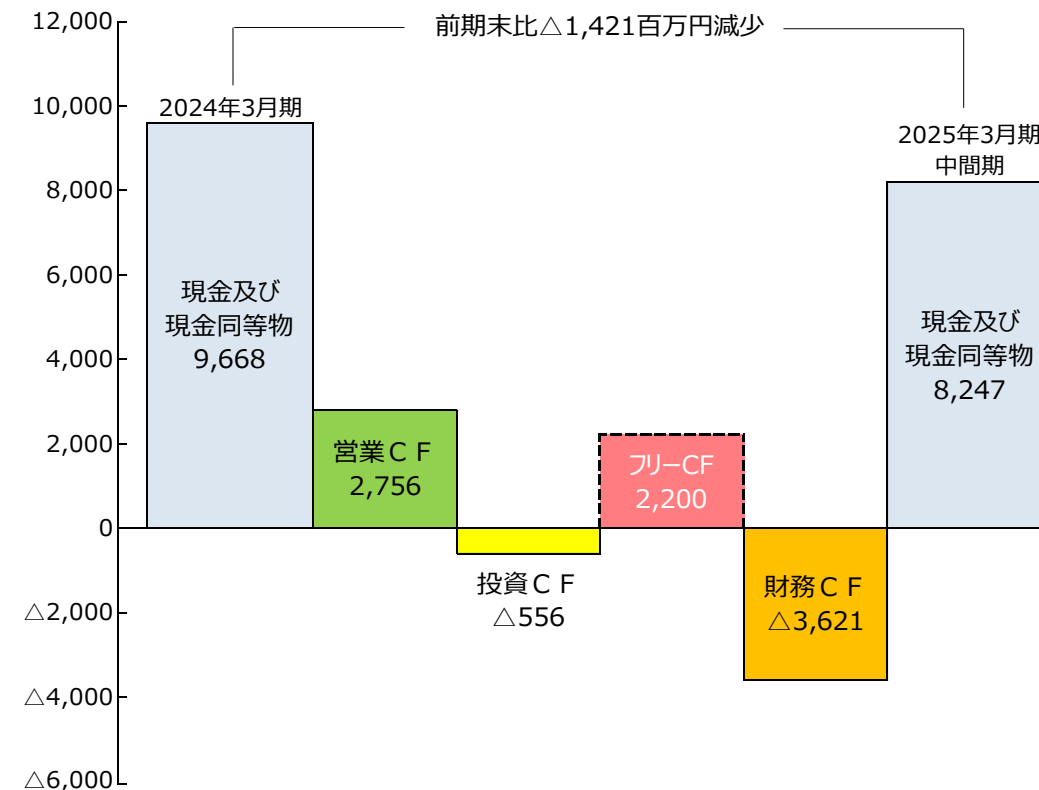
	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期実績	中間期実績	対前期増減額
営業活動によるCF	2,963	2,756	△206
投資活動によるCF	△3,404	△556	2,847
フリー・キャッシュ・フロー ※	△440	2,200	2,641
財務活動によるCF	2,173	△3,621	△5,795
現金及び現金同等物の増減額	1,732	△1,421	-
現金及び現金同等物残高	8,648	8,247	△401

■ 2025年3月期中間期連結キャッシュ・フローの主な内訳 ■

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期実績	中間期実績	対前期増減額
◆ 営業活動によるCF ◆			
・税金等調整前中間純利益	1,264	5,275	4,011
・減価償却費	3,524	2,314	△1,210
・運転資金	△3,120	△913	2,207
・その他	1,295	△3,920	△5,215
◆ 投資活動によるCF ◆			
・固定資産の取得による支出	△3,355	△3,065	289
・固定資産の売却による収入	10	2,233	2,223
・その他	△59	275	334
◆ 財務活動によるCF ◆			
・有利子負債増減	2,955	△3,120	△6,075
・配当金の支払額	△500	△496	3
・その他	△281	△4	277

(単位：百万円)



※ フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

〔 2025年3月期下期の事業環境 〕

事業環境は、継続する原材料価格の高騰などコストアップ要因や物価上昇による市場の消費動向が懸念されるなど、不透明な環境が続く見通し。

〔 2025年3月期 通期連結業績見通し 〕

- ・売上高は、上期に加工食品の販売数量の伸長や食肉事業の量販店向け販売拡大により好調に推移したことを踏まえ、前回予想を上回る見込み。
- ・利益面は、原材料価格や物流費などのコスト上昇が見込まれるも、上期の各段階利益が当初予想を上回る結果となり、前回予想を上回る見込み。

〔 通期業績計画 〕

- ・2025年3月期通期連結業績計画（業績予想）は、2024年5月13日に公表の計画を以下のとおり修正。

■ 通期見通し ■

（単位：百万円）

	2023年3月期			2024年3月期			2025年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期増減額	対前期増減率	通期計画	対前期増減額	対前期増減率
売上高	110,557	111,421	221,979	114,118	114,690	228,808	118,582	117,417	2,727	2.4%	236,000	7,191	3.1%
営業利益 （売上高比率）	△ 754 (△0.7%)	△ 645 (△0.6%)	△ 1,400 (△0.6%)	1,482 (1.3%)	1,634 (1.4%)	3,117 (1.4%)	2,882 (2.4%)	1,617 (1.4%)	△ 17 (0.0%)	△1.1% -	4,500 (1.9%)	1,382 (0.5%)	44.3% -
経常利益 （売上高比率）	△ 515 (△0.5%)	△ 381 (△0.3%)	△ 897 (△0.4%)	1,738 (1.5%)	1,900 (1.7%)	3,639 (1.6%)	3,143 (2.7%)	1,756 (1.5%)	△ 144 (△ 0.2%)	△7.6% -	4,900 (2.1%)	1,260 (0.5%)	34.6% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 （売上高比率）	△ 575 (△0.5%)	△ 4,412 (△4.0%)	△ 4,987 (△2.2%)	983 (0.9%)	△ 10,397 (△9.1%)	△ 9,414 (△ 4.1%)	4,272 (3.6%)	427 (0.4%)	10,824 (9.5%)	- -	4,700 (2.0%)	14,114 (6.1%)	- -
1株当たり 当期純利益	△22.87円	△175.90円	△198.77円	39.34円	△417.07円	△377.73円	171.91円	17.19円	434.26円	-	189.10円	566.83円	-
1株当たり配当金	-	-	20円	-	-	20円	-	-	-	-	30円	10円	-

2025年3月期 通期セグメント別連結業績計画



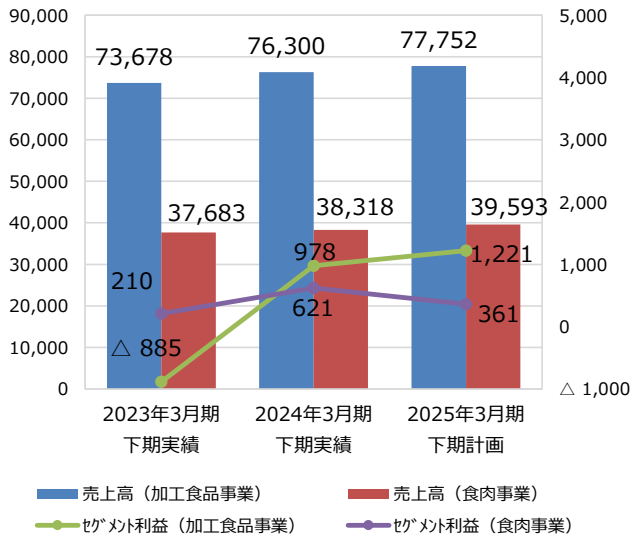
■セグメント別通期見通し■

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			2025年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期		通期計画	対前期	
									増減額	増減率		増減額	増減率
加工食品事業	73,414	73,678	147,093	76,103	76,300	152,404	79,347	77,752	1,452	1.9%	157,100	4,695	3.1%
食肉事業	37,075	37,683	74,758	37,958	38,318	76,276	39,176	39,593	1,275	3.3%	78,770	2,493	3.3%
その他	67	60	127	56	72	128	58	71	△0	△0.7%	130	1	1.4%
売上高	110,557	111,421	221,979	114,118	114,690	228,808	118,582	117,417	2,727	2.4%	236,000	7,191	3.1%
加工食品事業 (売上高比率)	△767 (△1.0%)	△885 (△1.2%)	△1,653 (△1.1%)	1,146 (1.5%)	978 (1.3%)	2,125 (1.4%)	2,678 (3.4%)	1,221 (1.6%)	243 (0.3%)	24.8% -	3,900 (2.5%)	1,774 (1.1%)	83.5% -
食肉事業 (売上高比率)	△6 (△0.0%)	210 (0.6%)	203 (0.3%)	321 (0.8%)	621 (1.6%)	943 (1.2%)	188 (0.5%)	361 (0.9%)	△260 (△0.7%)	△41.8% -	550 (0.7%)	△393 (△0.5%)	△41.7% -
その他	19	29	49	14	34	48	16	33	△0	△1.0%	50	1	2.5%
セグメント利益 (売上高比率)	△754 (△0.7%)	△645 (△0.6%)	△1,400 (△0.6%)	1,482 (1.3%)	1,634 (1.4%)	3,117 (1.4%)	2,882 (2.4%)	1,617 (1.4%)	△17 (0.0%)	△1.1% -	4,500 (1.9%)	1,382 (0.5%)	44.3% -

下期実績・計画

(単位：百万円)



■加工食品事業■

- ・主力カテゴリの利益確保。
- ・マーケティング活動の推進。
- ・技術開発推進、製造コスト抑制による競争力の強化。
- ・レトルト商品販売強化。
- ・スナック商品の生産再編による収益改善と商品力強化。
- ・不採算商品の改善、生産工程の見直しによる収益改善。

加工食品事業の通期業績は、売上高3.1%増、セグメント利益83.5%増を計画。

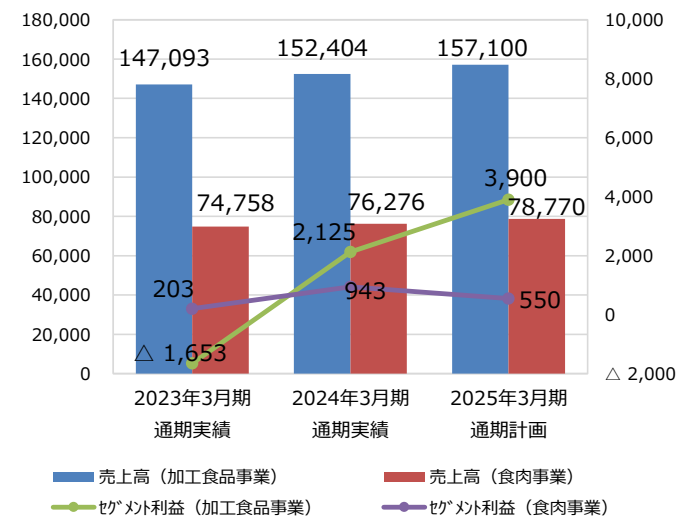
■食肉事業■

- ・ブランド輸入ビーフの取り扱い強化。
- ・一次加工商品の開発、外食産業向け販売強化。
- ・食肉販売会社のエリア拡大と販路拡大。
- ・食肉加工事業会社の生産拠点の増設、調理惣菜の強化。

食肉事業の通期業績は、売上高3.3%増、セグメント利益△41.7%減を計画。

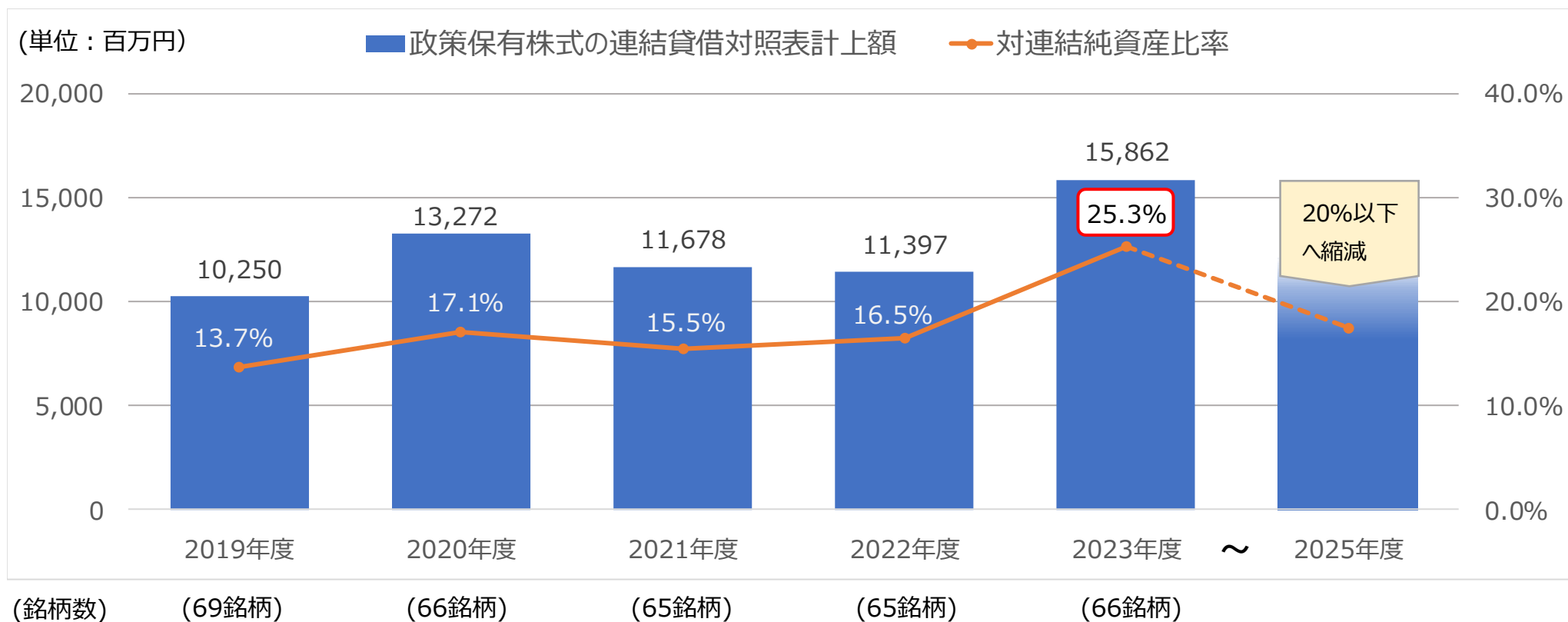
通期実績・計画

(単位：百万円)



改善に向けた取組み			2024年度中間期 実績／今後の方針
収益性	収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中期経営計画を実行 ✓ 構造改革の推進 ✓ 生産性の向上 ✓ 成長に向けた資本の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度中間期実績は期初計画通り進捗 ・構造改革の各施策は計画通り進捗し、改革効果は想定を上回る水準で発現する見通し
効率性	資産効率の改善	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保有資産の見直し 未稼働資産、資本効率の低い資産の改善・売却 ✓ 政策保有株式の継続的な見直し ✓ 効率性を意識した設備投資 ✓ 成長に向けた資本の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧足立営業所（遊休）ほか 2 物件の売却完了、その他資産について見直し継続 ・政策保有株式は、2025年度末までに対純資産比率 20%以下へ縮減方針（詳細次頁） ・未稼働資産、政策保有株式の売却代金は、持続的な成長のための投資や株主還元等に活用
財務 レバレッジ	最適な財務レバレッジ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 財務の健全性、格付の維持に留意しながら、最適な資本構成を実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本格付研究所（JCR）の長期発行体格付／見通し「BBB+／安定的」付与 ・企業価値向上に向けた最適資本構成を模索
その他	株主還元の充実	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安定配当を基本として、収益成長に応じた増配を目指す ✓ 機動的な自社株買いによる総還元性向の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度は1株当たり30円配当（+10円）予想 ・安定配当および機動的な自社株買いにより、引き続き総還元性向の向上に努める
	I R 活動の充実と E S G 強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 株主との建設的な対話と経営への反映 ✓ 情報開示の充実 ✓ サステナビリティ取組み推進（E S G、人的資本） 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関投資家、証券アナリスト向け決算説明会開催、投資家との個別対話を実施 ・株主との対話内容を定期的に取り締役にフィードバック

- 政策保有株式は、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資すると判断される場合のみ保有していく方針
- 2024年3月31現在、当社の政策保有株式は158億円（BS計上額）、対連結純資産比率は25.3%
- 資産効率の向上と財務体質の強化を目的として、保有意義の議論を一層掘り下げ、政策保有株式の縮減を進める
 【目標】 2026年3月期末（2025年度末）までに対連結純資産比率20%以下に縮減
- 政策保有株式の縮減に伴う売却代金は、持続的な成長のための投資や株主還元（配当、自己株式取得等）に活用



丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。